

【各委員会への役割とお願いについて】

1. クラブ管理運営委員会

(1) SAA（会場監督）

月初めのみ例会場の席を自由席にせず、サプライズ席にするようにしてください。また、内なる改善・改革の「4」の内容に従って進行するようにお願い致します。

※ 特に笹谷俊尚 SAA 委員長の徹底振りには大変に感謝を申し上げます。

(2) 親睦活動

映像や音響をフル活用し、芸能性を取り入れた例会を心掛けるようお願い致します。

※ 関根悟委員長は真剣に前向きに取組み親睦例会を盛り上げていた。

(3) 出席、ニコニコ箱

特に欠席者には色々な方法で連絡をしていただきフォローする事と、4ヶ月毎（①7月～9月 ②10月～12月 ③1月～3月 ④4月～6月）に全会員の出席状況（%）を発表し、出席状況表を1人1人に手渡し、メールでも通知する事をお願い致します。また、ニコニコ箱（ボックス）に付いては、前年度の金額を上回るような目標を設定し進めてください。また、当会員が地域の情報誌等に掲載された時は、それをコピーして例会で発表をする事によって、楽しい雰囲気を作りながら寄付を募って行く事をお願い致します。

※ 出席状況の一覧表を定期的にメールボックスに配布していた

※ ニコニコ BOX については菅原百合子委員長の独特のスマイルで常に良い雰囲気を作りながら寄付を募っていた。

(4) クラブ研修、新会員研修

新会員と共に、ロータリーとは何か？を、勉強していただき全課程を修了した会員には、心に残る思い出の意味合いを含め、修了証書を授与していただくようお願い致します。また、ロータリー関係の情報誌・その他から得た内容を例会中（5分程度）で、委員長として多少の所見も交えて通知し発表をお願い致します。

※ 岩下誠委員長は年度の最後の最後まで諦めずに研修を開催していた。

(5) 会計監査

クラブ全員の会費です。いわゆる重みのある総意の1つですので、その会費が適切に処理されているかを6ヶ月毎（年2回）に書面と口頭にて発表報告をお願い致します。また、その報告内容を書面やメール等を活用し全員に通知するよう、お願い致します。

※ クラブ会費が適切に処理されていました。

2. クラブ広報委員会

(1) プログラム

年間プログラムの作成と内容の確認と精査をして、全会員への周知徹底をお願い致します。

※ 高木昌人委員長は遅刻してでも必ず出席し全会員へ周知徹底しておりました。

(2) 会報

例会時の内容を企画、編集し中身の濃い会報を発行する。また、当クラブの活動内容が掲載された情報誌などを切り抜きし HP に掲載する事をお願い致します。

※ 斉藤博司委員長、事務局員も含め素適な写真の撮影などの掲載も中味の濃い会報になっていました。

(3) ICT、広報、雑誌

クラブの事業活動や行事内容をマスコミや関係機関へ掲載していただける様に、前もって（7日前程度）通知するようにお願い致します。また、ロータリーの広報のため“ロータリーの友”の発売毎に千歳市立図書館へ寄贈する事をお願い致します。

※ 四方信次委員長は新聞や地元情報誌などの掲載記事を例会時に必ず発表し広報していた。

(4) 細則検討

当、千歳セントラルロータリークラブ細則について、現在、または近い将来に向け不具合が生じようとしている細則を見直すため、クラブ内から徹底した意見を取り入れ検討し、“細則の変更”をしていただくようお願い致します。

※ 今回の“細則変更”については今後のクラブに必要な内容にさせていただきました。

3. 会員増強・維持委員会

(1) 会員増強・維持、会員選考、職業分類

“RI 会長賞”の受賞をめざし、新会員“純増 8 名の入会の目標”を掲げ、そのための活発な情報収集を周知徹底し進めていただきたい。当クラブ内においても 1 名以上の新会員を推薦し、入会を達成した方に感謝を含め、その都度表彰したいと思います。また、会員の退会防止のため、出席率の低下している会員に対し会員同士が協力して訪問・メール・お手紙・その他等を活用し、出席率を上げ退会防止を最低限にとどめるような努力をお願い致します。

※ 新会員“純増 8 名の入会目標”に対し“純増 7 名”でした①田口廣会員が 1 名②小松義徳会員が 2 名③白木松敏会員が 4 名でした。ありがとう御座いました。

4. 奉仕プロジェクト委員会

(1) 社会奉仕

社会（世間さま）の為に、今、何が必要なかを検討する。2011 年 3 月 11 日午後 3 時 15 分東日本大地震において津波における大災害が発生した事は、いまだに記憶から離れません。私達セントラル RC クラブも、これまでに、この大災害に関わる事業を色々な形で進めてまいりました。この大災害を忘れないためにも事業の形を変え関わっていきたくと考えています。私達が、今まで関わってきた被災地の岩沼関連に何ができるのかを、進めていきたいと考えていますので、どのように進めて行くかをご検討お願い致します。

※ 松坂委員長の下、クラブ一丸となって「第 3 回千年希望の丘植樹祭 2015」に会員 20 名（事務局員 1 名含む）が参加しました。又、岩沼ロータリークラブとの親睦を深め素晴らしい奉仕活動でした。

(2) 職業奉仕

ロータリーとして基本的な“4 つのテスト”を遵守して自からの職業を全うしなければなりません。また、当クラブのメンバーの職業内容の自己紹介（5 分間スピーチ）、そしてメンバーの企業訪問等の企画や情報交換をお願い致します。

※ 地区セミナーでの開催に野口三恵子委員長が参加した。

(3) 安心安全な街づくり

千歳市は、北海道の玄関であり、また国際空港を抱える国際都市でもあり、観光都市でもあります。私達が愛する町に来客する観光客が、いかに安心・安全で快適に過ごして頂き、また良い印象を与えられるか？そのために“何が必要なか”を歓楽街が位置する清水町界隈の地区を見つめ、清水町に関わるリーダーの方々や千歳市民に対してお手伝いをしていく事をお願い致します。

注：歓楽街とは…飲食店や映画館などのレジャー施設が多数集まっている地区の事である（盛り場、ネオン街とも称されます）

※ 井上英幸委員長がクラブ外で活動している団体を卓話（勉強会）で紹介し色々な角度から安心で安全な街づくりも有るのだと言う事を提言しクラブ全員が真剣に耳を傾けていた。

(4) 国際奉仕

WCS で実行して来た事などを検証しながら、この事業の大切さを改めて周知し継続しなければならない事をお願い致します。

※ WCS の田口廣地区副委員長は毎年、地道な活動に参加し今年度も海外へ検証の為、渡航しクラブ内で報告会を開催した。

※ 空港募金箱 佐々木俊哉委員長が担当する募金箱は 2015 年 6 月 9 日（火）12：30 からの例会で島倉弘行教育部長をお迎えし卓話をいただき終了後、千歳市奨学基金に 20 万円を寄付し山口幸太郎千歳市長名で感謝状を受けた。

(5) 青少年奉仕、ローターアクト

青少年世代の交流を活発化し、またその世代の資質の向上を計るために、まずは自社の社員や協力業者へ入会等のお願いをしながら、会員の増強活動をお願い致します。

※ 岩下誠委員長が率いる青少年奉仕・ローターアクト委員会はローターアクト例会には常に出席し理解を深め活動をしていただきました。

5. ローター財団

(1) ローター財団・米山記念奨学

これらの資金が過去どのように使用（クラブ内外）されたのかを確認しながら今後もこのシステムの必要性を検証し理解していただく事をお願い致します。

※ 2015年6月18日にローター財団へ総額4,100ドルを寄付致しました。

※ 米山記念奨学金へ92,000円を寄附致しました。

(2) 友好クラブ

互いのクラブの交流が、今後にわたり無理（出費によるクラブの預貯金などの留保金の額を考えながら）をせずに派手にならないように再確認し細く長い付き合いになるようにしていかなければならないと考えます。

次に素適な創立25周年を迎える為1項目から7項目の「クラブ内の改善・改革」を進めてまいりました。

【内なる改善・改革】

1. 出来る限り“新会員を委員長”に抜擢し新鮮な血を取り込んでいく。

※ 殆んどの新会員の委員長そして理事の方々は与えられた役割を熟され頭が下がる思いでした。ありがとうございました。

2. 新会員の委員長を前面に出し活躍していただくため、側近には副委員長としてベテラン会員を教育係、そしてプロデューサーとして就任していただき、自身の担当委員会を見つめ直し“目つ強力で新鮮”な委員会を築き上げていただきたい。

※ 殆んどのベテラン副委員長は委員長を遠くから温かく見守っていただき感謝を申し上げます。

3. この改善・改革を達成するためには、どうしてもコミュニケーションが必要となり、さまざまなアイデアが湧き出て来ますので今まで以上に“内容の濃い活発な委員会”が完成するのではないかと信じています。

※ 「ローターの友」を各施設に配布し広報活動に役立てた。

※ 例会毎に各テーブル上に上半期・下半期等のスローガンを掲げ会員の意識の高揚を促した。

4. 例会中に携帯電話の音が鳴る事もあります。“例会場に入る前に携帯電話をマナーモードにセット”して入るように心掛けてください。

※ 殆んどの会員がマナーモードに対し理解していただきました。

5. 例会中、または準例会中（2次会など）で気心の知れた会員同士が相手の名を呼び捨てにする事がありますが、側で見ている新会員の方になんらかの影響が感じられるため、今後は新会員に悪い印象を与えないようにしていただきたいと思います。また、私共一人一人が会社に戻ると自分が全て法律のような事もあります。私達のクラブに出席すると、みんな一人一人が法律であります。互いの人格を尊重し合い“～さん、～君、又は～役職を付けて”呼んでいただきたいと思います。また、目上の方に対しての言葉使い等にも、心配りしながら接して頂きたいと思います。

※ 殆んどの会員の意識しながら接していた様に思います。

6. 委員長、そして副委員長などが、例会場のステージの前檯で会員名を呼ぶ時は、その“会員の名前をフルネーム”で呼ぶように心掛けて頂きたいと思います。

※ 特に笹谷俊尚 SAA 委員長の徹底振りには大変に感謝を申し上げます。

7. 新会員の入会式には千歳セントラル RC の正会員として認定証書を発行します。人はどのような時でも一度は悩み嫌になる事があります。その時に、入会時の認定証書などを見つめ直す事によって入会式等を思い出し、再度クラブに留まる可能性もあるのではないのでしょうか。やはり思い出と言う映像は大切ではないかと思えます。

※ 認定書や会員増強の為の感謝状の発行などを徹底し定着を致しました。今後も引き続き進めていただきたいと思えます。

※

ローターソングの必要な会員の方々へ贈呈をいたしました。今後は新会員の方々へ入会時にセットの中にツールの1つとして配布願います。20枚程度を事務局に贈呈致しました